

迫力の演奏堪能 池川小でオーケストラ公演

小学生が本物の芸術を体験



や楽器の説明を交えながら演奏。また児童が演奏にコーラスで参加するコーナー、バイオリン体験コーナーなどもあり貴重な時間を過ごしました。

この演奏会を楽しんだ。

1月27日 池川小学校で京都フィルハーモニー室内合奏団による演奏会が開かれ、児童や池川保育園児、池川中学校生徒、地域の方々が迫力の演奏に耳を傾けました。

これは文化庁の「本物の舞台芸術体験事業」で行われたもので、昨年十月、仁淀中学校での東京ニューシテイ管弦楽団の演奏会に次いで公演となりました。合奏団は「カルメン前奏曲」や「ベートーベン運命」など九曲を曲目の解説

だ氏次邦臣さん（北浦）は「素晴らしい演奏でした。生の演奏を見たり聞いたりすることはめったになく、感動したりゆったりした心にもなれました。当日は暖かく、春の訪れを感じるような日差しの中で、バイオリン協奏曲では、野山の小鳥も喜んでさえずっているように思えました。『コンドルは飛んでゆく』は私も好きな曲で、つい口ずさみ、演奏に心を打たれました」と感想をお寄せいただきました。

超かんたん有機農業勉強会



2月5日 野菜の収穫とモデルほ場の片付けをした後、収穫した野菜で鍋を作って試食をしました。「野菜が甘くておいしい」とすごく好評でした。

ただ、今年は天候不良の影響で、播種・定植作業が1カ月近く遅れたために生育が悪く、一部の野菜を除いて出荷するまでには至りませんでした。家

収穫作業



庭で食べるには十分だったので皆さんに味見用として持ち帰ってもらいました。

また1月26日には、大崎保育所園児と町議会議員の皆さんが参加して、大根の収穫作業を行いました。寒い中でも元気な子どもたちとの楽しい作業になりました。

今年のは場作業は、これで終了となりますが、来年度も勉強会とはほ場での実証栽培を計画しています。今年の課題を克服しながら、より安心・安全でおいしい野菜づくりを行いたいと考えていますので、ぜひ参加していただきたいと思います。

参加希望等の問い合わせ

池川総合支所地域振興課 ☎34・2115

火の用心 大崎保育所防火パレード

2月5日 大崎保育所幼年消防クラブの「もちつき防火パレード」が保護者や消防関係者らも参加して行われました。

パレードに先立って行われたセレモニーでは、保育園児が歌や合奏を披露。



「火遊びは絶対しません」と、大きな声で防火の誓いも言えました。

パレードは保育所から中央公民館までの往復。沿道の人たちにつきたてのもちを配りながら、防火を呼びかけました。

色とりどり 力作ぞろい

2月14日 かつよりくん弁当創作コンテスト
(武田勝頼土佐の会主催)が大崎の鳴玉神社
横の駐車場で行われました。

コンテストには町内外の料理自慢10組が出
品、工夫を凝らした色とりどりのお弁当が並
びました。

審査員は来場者の中から選ばれた30人で、
見た目や味はもちろん、県内産の材料が使わ
れているかも審査基準に。甲乙つけ難い力作
ぞろいに審査も難航を極めた様子でしたが、
次の方々の入賞が決定しました。

かつよりくん弁当 創作コンテスト



会場では玄蕃太鼓の演奏のほか
お茶、いりもちなどの販売も

今後、入賞作品を基に「かつよりくん弁当」を
作り、武田勝頼土佐の会のイベントなどで販売さ
れる予定です。

- 優勝 山中喜代子(竹ノ谷)
- 第2位 J Aコスモス吾川女性部
- 第3位 浜渦 利美(安芸市)



厳しい目で審査されるお弁当



優勝した山中さん

予測してなかった。
うれしいです。安く
て体にいい物を使っ
て、メタボにならない
ようなお弁当です

高知高専の今井一雅教授から
は、しもなの郷で行っている木星
電波の観測の状況と今後の可能性
について、九州大学の羽田亨准教
授からは、太陽系惑星からの電波
放射や地球の磁気圏が太陽爆発に
よる電波や粒子を防いでいる、と
いった話がありました。

また京都大学生存圏研究所の橋
本弘蔵教授からは木星からの電波
が一定の状況で強くなったり弱く
なったりする、これにイオという
木星の衛星が影響していることな
どの講演がありました。

県外からの参加者を含め約六十
人の前で、三人の研究者が講演し
ました。

講演会「惑星からの電波放射の 謎を探る」

宇宙電波などの研究をしてい
る大学教授らが来町。二月十四
日午前中は、中央公民館で「惑星
からの電波放射の謎を探る」と題
して一般向けの講演会を、同日午
後と十五日には、吾川木星電波
観測所(しもなの郷)で関係者に
よる研究会が開催されました。



研究会の様子(しもなの郷)

会場からは、仁淀川町で行って
いる宇宙電波の観測と研究成果は
私たちに何をもたらすのか、とい
った質問や、宇宙に存在するとさ
れている暗黒物質(ダークマタ
ー)の解明にも役立つのかといっ
た質問がありました。

第115回生存圏研究会 (地球惑星圏学会波動分科会)

「惑星・太陽・天体からの電波放
射」の研究会。東北大学、京都大
学、九州大学など国内六つの大学
から研究者十五人が参加し、現在
それぞれの研究機関で取り組んで
いる最先端の研究成果や取り組み
状況などを発表しました。



宇宙電波の謎を探る!? 研究者らが講演と研究会

池川中が環境美化優良校に

環境美化教育に取り組む全国の小中学校などに贈られる「2008年度環境美化教育優良校等表彰」（社団法人食品容器環境美化協会主催）の散乱防止活動部門・優良校に池川中学校が選ばれました。

池川中では、平成8年から生徒会が企画して、全校生徒が校区内のごみ拾いや清掃活動を続けています。

また月2回、地域住民がリサイクルごみとして収集場所に出す空き缶を学校に持ち帰り分別。このうちアルミ缶をごみ処理業者で換金し、ラオスの中学生の奨学金として寄付しています。

このほか昨年、書き損じたはがきの収集も呼び掛け、800枚以上を集めることができました。

ラオスへ奨学金寄付も

この収益金も奨学金として寄付しました。

「地域のため社会のために役立ちたい」と生徒たち。今回の表彰を励みに、今後も活動を続けていくとのこと。



受賞を喜ぶ池川中生徒と教職員



仁淀川町を調査・研究

成果を堂々と発表 仁淀高

一月二十二日、仁淀高校体育館で「総合的な学習の時間」発表会が行われました。

全校生徒四十三人が八つのグループを作り「自分を知り、地域を知る」をテーマに、町の文化、産業、環境などについて課題を発見し、調査・研究に取り組んできました。その成果を生徒が堂々と発表したもので、教育関係者や保護者、地域の方々が熱心に耳を傾けました。

各グループの課題は、少子高齢化を考えた「仁淀川流域調査隊」、有名なスポットを訪ねまとめた「仁淀川町ガ

イドブック」、歴史的名所にスポットを当てた「高吾北歴史研究」、茶畑再生やおいしいお茶の研究を行った「お茶・お茶畑」、和太鼓演奏に取り組んだ「郷土芸能にふれる」、五年間継続して調べられている「仁淀川流域の方言調査」、地元の食材で創作料理に取り組んだ「郷土料理の伝承」、ダムや人間生活が川に及ぼす影響を研究した「仁淀川水質調査」。

発表を聞き終えた保護者たちからは「仁淀川の水の美しさの再発見にもなった」「歴史マップを作って地域ごとのつながりを調べてみるのも面白いかな」と思いました。「だんだん廃れていく方言を使わないにしても記録しておくたいものです」「町が今大変困っている内容の調査で、題材としての着眼点などよかったです」などの感想が寄せられました。

発表集録をご希望の方は
お問い合わせください。

仁淀高校

☎ 36・0023

FAX 36・0936

「総合的な学習の時間」担当

寺尾 佳倫



うくみさんがやって来た♪

人権参観日

一月二十四日、池川小学校で人権参観日が行われました。

各学年の授業が公開された後、場所をコミュニケーションセンターに移し、歌手のうくみさんを迎え、教育研究所の出前事業『うくみのHAPPYコンサート』で、軽快なおしゃべりと澄みきった歌声を披露してもらいました。

会場には保護者、地域の方々が足を運んでくださり、アットホームな雰囲気の中で時間が流れていきました。

うくみさんは子どものころから「負けん気」が強く、辛いことがあってもいつも前向きに頑張ってきたと語ってくれました。学生時代はバスケットボールの選手だったそうですが、決して身長は高くありません。そんな彼女が地元代表選手になれたのも、やはり「負けたくない！」この一心だったそうです。

そんなうくみさんは、歌の合間のおしゃべりの中で児童の作文にも触れ「分かるよ、私もそうだった」と子どもたちを励ましてくれました。

辛いことがあっても前向きに

技を続けることはできなくなりましたが「音楽」との新たな出会いがあり、今では海外にまでその歌声が届けられています。

耳を澄ませてピアノの音を聴き取ったり、目を閉じて想像したり、子どもたちは確実にうくみさんの世界に引き込まれ「本物を感じている姿」が印象に残りました。

子どもたちに優しく話しかけるうくみさん



より便利に
より安心に!!
保険内容を
改定しました

スポーツ安全保険

傷害保険 賠償責任保険 共済見舞金



5名以上の団体に
ご加入ください

対象となる事故 団体活動中の事故／往復中の事故
保険期間 平成21年4月1日午前0時より平成22年3月31日午後12時まで（申込受付は平成21年3月から）
加入区分・掛金・補償金額（団体活動を行う5名以上の方々で、加入区分をそれぞれお選び頂いてご加入ください。）

加入対象者	補償対象となる団体活動等	加入区分	年間掛金 (一人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 てん補限度額 (免責金額なし)	共済見舞金
				死亡	後遺障害 (最高)	入院 (日額)	通院 (日額)		
子ども (中学生以下 特別支援学校 高等部の 生徒を含む。)	団体活動全般 (スポーツ・文化・ボランティア・地域活動など)	A1	600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 180万円
	団体活動全般	AW	1,150円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億500万円 ただし、身体賠償は 1人 1億500万円	対象と なりません
	上記以外 (個人活動・個人練習など)			100万円	150万円	1,000円	500円		
大人	文化・ボランティア・地域活動 団体の送迎、応援、準備、片付け	A2	600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 180万円
	スポーツ活動 スポーツ活動の指導	C	1,600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
	子どものスポーツ活動の指導限定 ※C区分でも加入可	AC	1,100円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円		
	65歳以上	B	800円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	9,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

※同一団体に1口しか加入できません。中途加入する場合、中途退会する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入換え、加入区分の変更はできません。
 ※掛金には(財)スポーツ安全協会が運営する「共済見舞金制度」の掛金、1人20円が含まれています。
 ※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

問い合わせ 仁淀川町教育委員会 ☎35-0019